

日本語におけるジェンダーに関わる表現の考察

—「女子力」及び「女子力が高いね」に対する返答を中心に—

馬雯雯(筑波大学大学院生)

1. はじめに

「女子力」は名詞「女子」と接尾辞「力」の結合による派生語である。その語構成からもわかるように、「女子力」はジェンダーおよび能力に関わる語である。2009年のユーキャン新語・流行語大賞にノミネートされた。インターネットで「女子力」を検索したら、それと「アップ」「持ち物」「診断テスト」といったことばとのコロケーションが見られる。現在、「女子力が高いね」は日常生活で普通に使われている。では、「女子力が高いね」に対し、男女それぞれどのような返答の様相を呈しているのか、その返答の様相からどのようなジェンダーに関わる要素が見られるのかは本研究で探してみたい。

2. データと分析方法

本研究のデータは、「女子力」についての記述式のアンケート調査から収集した文字データである。調査対象は首都圏のある大学の10代～20代の大学生・大学院生（合計：64名、女性：33名 男性：31名）で、調査期間は2019年の8月から9月上旬にかけてである。なお、アンケート調査はGoogle フォームを利用して、実施した。

アンケートは九つの調査項目について行ったが、ここではその中から次の一つの調査項目に対する回答をとりあげて分析する。

「女子力が高いね」と言われたら、それに対しての返事はしますか。するなら、どのような発話をしますか。しないなら、その理由を教えてください。

「女子力が高いね」に対し、「返事しない」および「返事する」という二つのパターンが見られる。本研究では、この二つのパターンを分けて分析を行う。具体的な分析手順としては、まず、「返事しない」理由を男女別に分析する。そして、「返事する」場合の発話内容を寺尾（1996）金（2002）清水（2017）の「ほめ」に対する返答の分類方法を参照し、男女別にカテゴリー化しながら、分析を進めたい。最後に、男女の返答の様相に見られる「女子力」に関わるジェンダーの要素を炙り出す。

3. 分析と考察

3.1 「女子力が高いね」と言われたら

「女子力が高いね」と言われたら、「返事する/しない」人数および割合は下記の表1のようである。

表1 「女子力が高いね」に対する返事する/しない人数および割合

性別 \ 返事する/しない	返事する	返事しない
女性	30 (47%)	3 (5%)
男性	27 (42%)	4 (6%)
合計	57 (89%)	7 (11%)

表1からわかるように、「女子力が高いね」と言われたら、89%の人はそれに対し、返事する。そして、「返事する」女性の割合は男性よりやや高い。11%の人は「女子力が高いね」に対し、「返事しない」と答えた。そのうち、女性と男性の割合は大体同じである。以下では、「返事しない」理由および「返事する」具体的な発話内容を提示、分類しながら、分析する。

3.2 「返事しない」とその理由

3.1 節から、調査協力者の11%は「女子力が高いね」と言われたら、返事しないということがわかった。その理由は、以下のようなものが挙げられる。

【データ1】：返事しない理由

- (1) 広げるほどの話の内容を自分が持っていないから。(女性, 10代)
- (2) はずかしい。(男性, 20代) (3) 女子じゃないので。(男性, 20代)
- (4) なんと反応すればよいかわからない。(男性, 20代)

【データ1】から、「女子力が高いね」と言われたら、返事しない理由としては「広げるほどの話の内容を自分が持っていないから」「はずかしい」「女子じゃないので」「なんと反応すればよいかわからない」といった内容がある。このような理由から、女性も男性も「女子力」ということばに対し、距離感があるということがうかがえる。しかし、男女別にその理由を分析してみれば、その距離感の拠り所は異なっていることが垣間見える。「広げるほどの話の内容を自分が持っていないから」という理由から、「女子力」に対する知識がないことは女性のそれに対する距離感を持つことの拠り所になっている。一方、「はずかしい」「女子じゃないので」「なんと反応すればよいかわからない」といった理由から、男性の「女子力」に対しての距離感にはジェンダーによるものである。つまり、「女子じゃないので」という「女子力」に関わるジェンダー領域は自身の属するジェンダー領域のミスマッチの説明から、男性は「女子力」に対し、距離感を持つのは、ジェンダー・アイデンティティの不一致からなのであることがわかる。「女子力」は一種の能力として、その形式に表われるジェンダーの境界線を越え、男性のジェンダー領域に入っても、男性はそれに対し、距離感を持っていることは、「女子力が高いね」に対する返事しない理由からうかがえる。

3.3 「返事する」とその発話内容

3.1 節から、調査協力者の89%は「女子力が高いね」と言われたら、返事するということがわかった。その返事する発話内容の回答には、以下の例①-②のように、「「ほめ」ことばに対する返答」の内容と重なるものが多く見られる。そして、下記の例③のように、発話内容を記入しつつ、その発話内容を巡るメタ語用的な解釈を記入したデータも見られる。さらに、下記の例④のように、発話内容ではなく、直接発話内容に関わる解釈的な回答を記入したデータもある。本節では、まず、寺尾(1996) 金(2002) 清水(2017)を参照し、「女子力が高いね」に対する返答の発話内容の分類を行う。その分類の対象は例①-②のように、直接発話内容を記入したデータおよび例③のように、メタ語用的な解釈が伴う発話内容を対象とする。そして、男女別に分析を行う。分析に際し、カテゴリー化された発話内容だけではなく、その発話内容を巡る解釈および直接に記入された解釈的なデータも射程に入れ、行う。

例：①ありがとう。②そんなことないよ。③「やったね」とか「でしょ?笑」とか、とりあえず喜ぶ。④女子力が高いということはいい意味だと思うので、肯定して受け入れる発言をする。

女性の返答スタイル

【受け入れ型】

- ①感謝 ②控えめな同意
- ③賛同の発言・喜び

【否定型】

- ①的確さへの疑問 ②不賛成の発言
- ③的確さへの疑問+不利な情報の提示

【回避型】

- ①冗談

【複合型】

- ①的確さへの疑問(否定型)+感謝(受け入れ)
- ②感謝(受け入れ)+説明(回避) ③不賛成の発言(否定型)+感謝(受け入れ)

【受け入れ型】

女性の返答スタイルにおいては、「受け入れ型」にあてはまる発話内容はさらに「感謝」「控えめな同意」「賛同の発言・

男性の返答スタイル

【受け入れ型】

- ①感謝
- ②賛同の発言 ③感謝+控えめな同意

【否定型】

- ①的確さへの疑問 ②不賛成の発言
- ③的確さへの疑問+不賛成の発言

【複合型】

- ①説明(回避)+感謝(受け入れ)
- ②的確さへの疑問(否定型)+照れ(回避型)

喜び」に分けられる。男性の返答スタイルにおいては、「受け入れ型」にあてはまる発話内容をさらに「感謝」「賛同の発言」「感謝+控えめな同意」に分けられる。その中の女性、男性の「感謝」の具体的な発話内容は主に以下のようなものにまとめられる。

- ①ありがとう。(女性・男性) ②どうも。(男性)

女性の「控えめな同意」の具体的な発話内容および男性の「感謝+控えめな同意」の具体的な発話内容は以下のようなものがある。

- ①まあね～(女性) ②ありがとう。まあね(男性)

また、女性の「賛同の発言・喜び」の具体的な発話内容と男性の「賛同の発言」の具体的な発話内容およびそれに対する解釈は以下のようなものがある。

- ①「やったね」とか「でしょ?笑」とか、とりあえず喜ぶ。(女性) ②女子力ある系男子だから。(男性)

③だろ?でしょ?(男性) ④でしょー(肯定する)。自分の行為に対して誉められた気分になるから(私自身が男なので、女子力が高いと言われると誉められたように感じる)(男性)

上記の発話内容およびそれを巡る解釈から、「女子力が高いね」に対し、女性も男性も感謝、賛成、および同意を表す表現で返答する。また、「とりあえず喜ぶ」「自分の行為に対して誉められた気分になるから」といった解釈的な回答から、「女子力が高いね」は「ほめ」ことばとして受け入れる場合がある。

【否定型】

女性の「否定型」の発話内容はさらに「的確さへの疑問」「不賛成の発言」「的確さへの疑問+不利な情報の提示」に分けられる。男性の「否定型」の発話内容はさらに「的確さへの疑問」「不賛成の発言」「的確さへの疑問+不賛の発言」に分けられる。その中の「的確さへの疑問」「不賛成の発言」の具体的な発話内容は以下のようなものにまとめられる。

表2 「的確さへの疑問」および「不賛成の発言」の発話内容

的確さへの疑問	不賛成の発言
①そう?(女性)	⑤そんなことはないよ。(女性・男性)
②あっ、そうかな。(女性)	⑥高くないよ。(女性・男性)
③そうかな?(男性)	⑦そんなに高くないと思う。(男性)
④そうですか?等聞き返すような返答。(男性)	⑧僕は<女子>ではありません。(男性)
	⑨「僕,男だよ」と返答します。(男性)
	⑩いや俺男やし(笑)。(男性)

そして、女性の「的確さへの疑問+不利な情報の提示」および男性の「的確さへの疑問+不賛成の発言」の具体的な発話内容は以下のようなものである。

- ①「え、そう? 性格は男っぽいからせめてちょっとは気にしないと」という。(女性) ②「本当?そんなことはないよ」と謙遜します。(男性)

「そう?」「そうかな」「そうですか」といった言語形式から、女性も男性も「女子力が高いね」という発話に対し、疑問の意味を表す表現で返答する。そして、「ほめ」に対する定型の返答ともいえる言語形式の「そんなことはないよ」で「女子力が高いね」に対し、否定的な返答をする。また、女性も男性も「女子力が高いね」における述語の「高い」を「高くない」で否定し、「高くないよ」「そんなに高くないよと思う」といった形式で「女子力が高いね」に対し、不賛成の発言をする。一方、男性の場合には、「僕は<女子>ではありません」という否定の発言を用い、「女子力が高いね」に対し、不賛成の態度を表す回答が見られる。具体的にみれば、一人称詞「僕」およびジェンダーを表すことばの「女子」を「女子ではありません」の形で否定し、「女子力が高いね」という発話に対し、否定的な態度を表す。そして、「僕,男だよ」という男性が多用する一人称詞「僕」およびジェンダーを表すことばの「男」で自分のジェンダー・アイデンティティを主張する発言も見られる。また、「いや俺男やし(笑)」で「女子力が高いね」に対し、不賛成の発言をする回答も見られる。この言語形式から、「いや」という否定を表すマーカーで「女子力が高いね」に対し、不賛成の態度を表す、その後、男性が多用する一人称詞の「俺」およびジェンダーを表すことばの「男」を用い、ジェンダー・アイデンティティを主張することが見られる。このような「女子力が高いね」に対する返答のスタイルにおける「否定型」の「不賛成の発言」から男性は否定的なマーカーの「ではありません」を用い、「女子力」の前接語の「女子」に表われるジェンダーを否定し、また、否定的なマーカー

の「いや」を用い、「女子力が高いね」という発話を否定し、その上に、一人称詞の「僕」「俺」およびジェンダーを表すことばの「男」を用い、ジェンダー・アイデンティティを主張することがうかがえる。

【回避型】

あんたも真似しろ！と冗談交じりに言う。(女性)

「回避型」の返事スタイルは今回の集めたデータには、女性だけに見られる。「あんたも真似しろ！」という相手に対しての働き、命令の言語形式で「女子力が高いね」という発話を回避した。その「冗談交じりに言う」というメタ語用的な解釈からわかるように、この発話は「冗談」とつながり、「女子力が高いね」という発言を回避した戦略である。

【複合型】

女性の二つの返答スタイルが併存する発話内容は「的確さへの疑問(否定型)＋感謝(受け入れ)」、「感謝(受け入れ)＋説明(回避)」、「不賛成の発言(否定型)＋感謝(受け入れ)」という三つの下位カテゴリーに分けられる。その具体的な発話内容は以下のようなものである。

①えー？本当？？ありがとう！②ありがとう！もっと女子力高くなれるよう頑張る！③そんなことないよ、と言って謙遜しつつ、お礼を言う

一方、男性の二つの返答スタイルが併存する発話内容は「説明(回避)＋感謝(受け入れ)」「的確さへの疑問否定型(否定型)＋照れ(回避型)」にまとめられる。その具体的な発話内容は以下のものである。

①男けど、ありがとう。

②ほんとー！ちょっと照れる。

①の「男」に逆接を表す接続助詞の「けど」をつけることから、「女子力が高いね」に対し、「男」として元々返答しないが、そう言われたら、感謝するという意味が読み取れる。

【その他】

①友だち同士であれば冗談で威張るような返事をする。(女性, 20代) ②お礼を言う。(女性, 20代) ③女子力についての議論(男性, 20代) ④女子力が高いということはいい意味だと思うので、肯定して受け入れる発言をする。(男性, 20代)

「女子力が高いね」に対し、直接的な発話内容を記入せず、解釈的な回答を記入したデータには、以上の①～④のものがある。女性の場合は「女子力が高いね」に対し、「お礼を言う」という解釈的な返答が見られる。また、相手は友達なら、「冗談で威張る」ような返答をすると回答した。男性の場合は、「女子力が高いね」における「女子力」について議論する回答および肯定して受け入れる発言をするという解釈的な回答が見られる。

4. 終わりに

女性にも男性にも「女子力が高いね」と言われたら、「ありがとう」という感謝を表す「受け入れ型」の返答が見られ、「だろ」「でしょう」という賛同の発言をする返答も見られる。そして、女性の場合は「やったね」という喜びを表す返答も観察された。また、女性、男性の返答にも「そう？」「そうかな」「高くないよ」という「否定型」の返答が見られるが、男性は「僕は〈女子〉ではありません」「僕、男だよ」と返答します」という返答が見られる。男性の「女子じゃないの」という返答しない理由を合わせてみると、男性の中には「女子力」におけるジェンダーを表す「女子」に引っかかりをおぼえて、自分のジェンダー・アイデンティティを主張する返答が見られる。つまり、「女子力が高いね」に関する返答においては、男性も女性もそれをほめとして受け入れながら、お礼を言うスタイルが見られる。また、そのほめに対し、否定しながら、謙遜を表すスタイルも見られる。同時に、男性の返答では、「女子力が高いね」と言われたら、ジェンダー・アイデンティティを主張する場合があることから男性は「女子力」ということばに対し、ジェンダーを拠り所に距離を置くことがうかがえる。

参考文献

- 金庚芬(2002)。「ほめに対する返答」の日韓対照研究 言語・地域文化研究, 8, 179-195.
清水由希(2017)。「ほめ言葉に対する返答について」国文目白, 56, 31-47.
寺尾留美(1996)。「ほめ言葉への返答スタイル」日本語学, 15, 81-88.